

都市計画道路桜木東戸塚線（平戸地区）街路整備工事

工事概要説明会

発注者  横浜市

施工者 大林・アイサワ・京急建設共同企業体

 株式会社大林組

 アイサワ工業株式会社

 京急建設株式会社

1 事業概要

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



©OpenStreetMap contributors

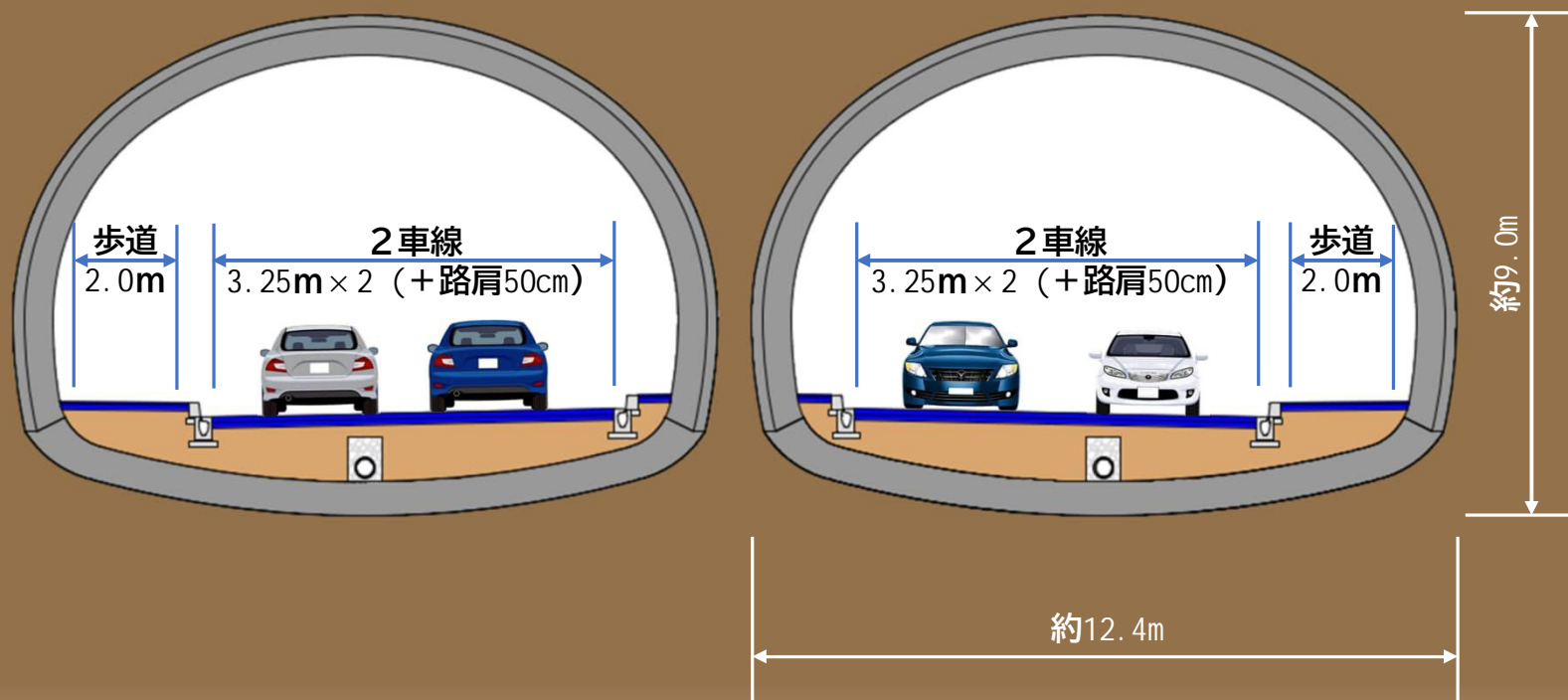
事業区間	戸塚区平戸町地内から 戸塚区平戸五丁目地内まで
延長	約670m
幅員	24~28m
車線数	4車線（片側2車線） 両側歩道
都市計画決定	昭和21年8月26日
事業期間	平成元年度~令和9年度（延伸予定）
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・幹線道路ネットワークが強化され、国道1号や環状2号線の交通混雑が緩和されます。・生活道路へ流入している通過交通を排除し、歩行者の安全性が向上します。

1 工事概要

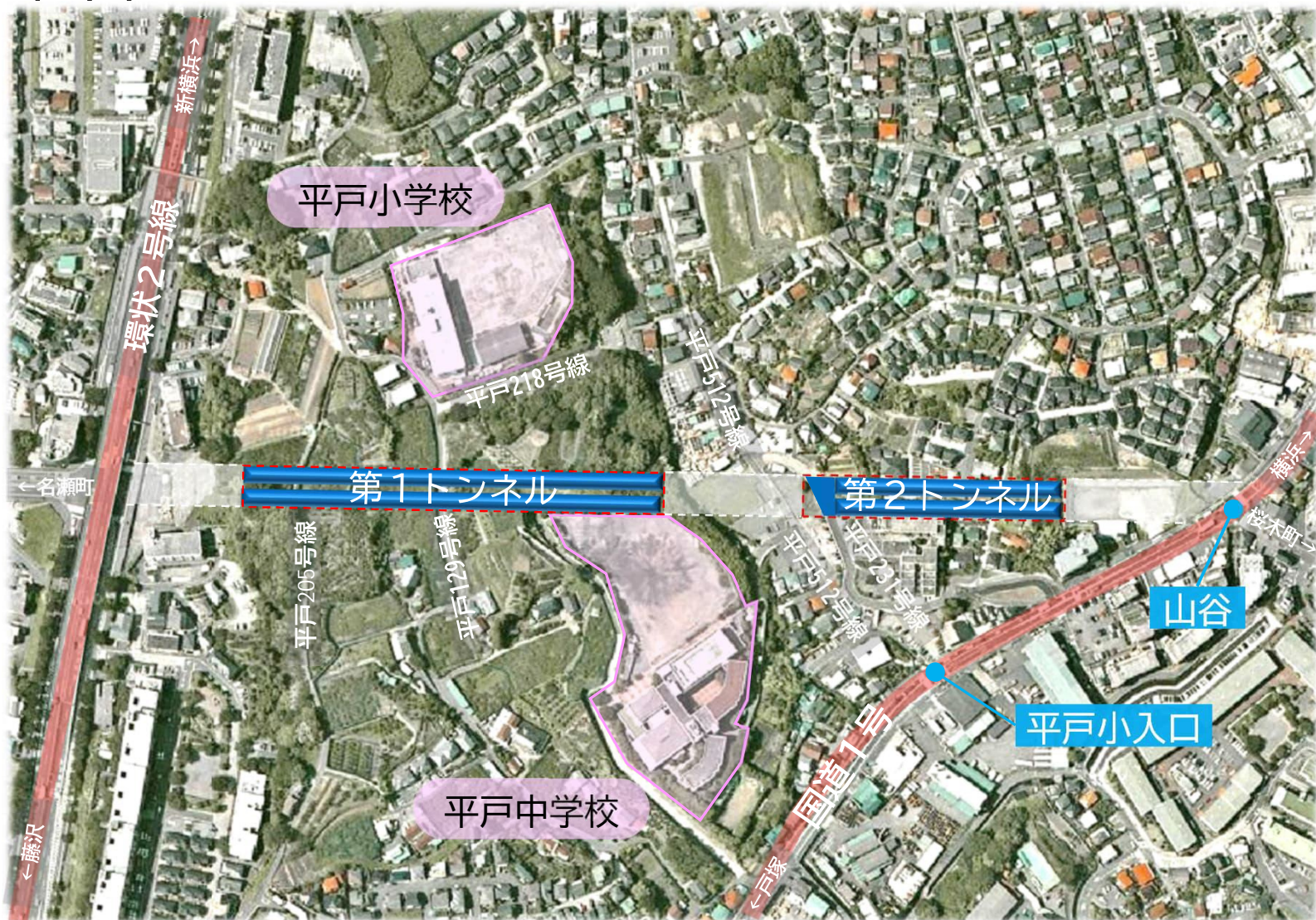
- 工 事 件 名 : 都市計画道路桜木東戸塚線 (平戸地区) 街路整備工事
- 工 事 場 所 : 横浜市戸塚区平戸町567番地の3
~同区平戸五丁目1310番地の5
- 工 期 : 自 2023(令和 5)年12月20日
至 2032(令和14)年 3月31日
- 発 注 者 : 横浜市
- 施 工 者 : 大林・アイサワ・京急建設共同企業体
- 主 な 工 事 内 容 : 工事延長 約670m
標準幅員 24~28m
車線数 4車線 (片側2車線) 両側歩道
トンネル工 1式
第1トンネル 275m、第2トンネル 163m
土工 1式
擁壁工 1式
付帯工 1式
仮設工 1式
詳細設計業務 1式

1 工事概要

○ トンネル断面図



2 工事位置図



国土地理院地図より

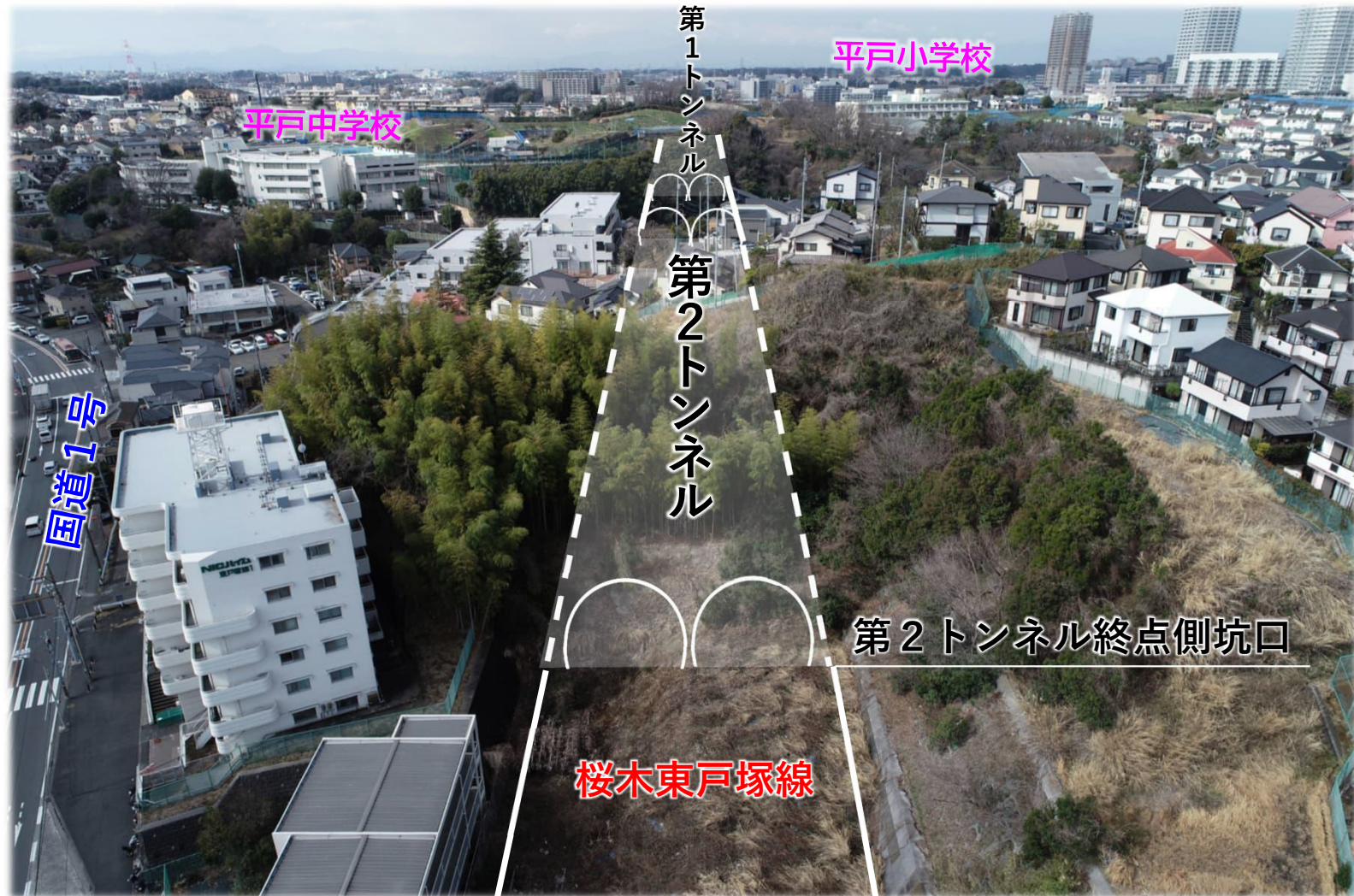
2 工事位置図



2 工事位置図



2 工事位置図

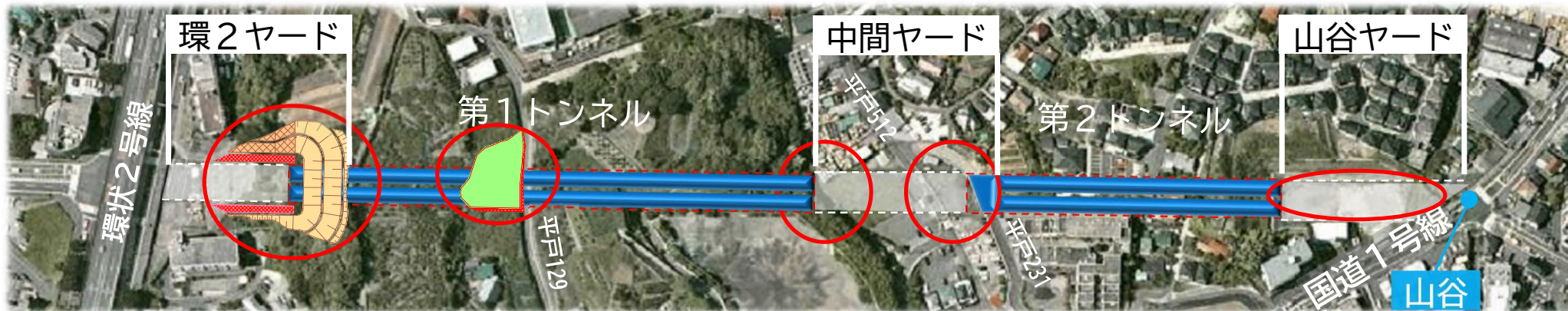


3 工事工程

工種	位置	R5年度	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)		
詳細設計	・測量、調査、設計業務		■									工期
準備工	・現場事務所設置等		■									
第2トンネル	・ヤード整備、補助工など ・トンネル本体工			■								
第1～第2トンネル間	・市道切り回し、栈橋、函渠など			■								
第1トンネル	・擁壁工、補強盛土工など ・切土工、法面工など				■							
	・トンネル本体工					■						
その他関連工事	・工事ヤード復旧整備等								■			
片付工										■		

■ 夜間作業あり

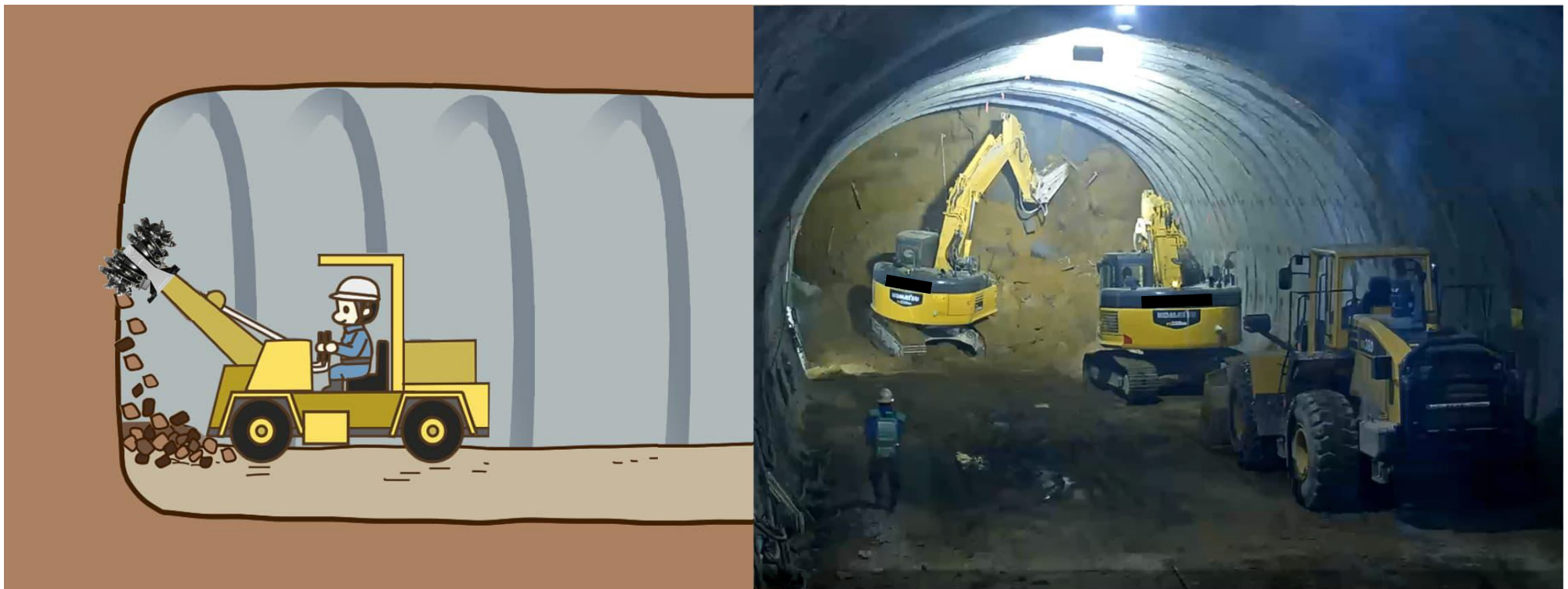
- ※ 市道平戸231号線の切り回しや栈橋架設工事など、**一部作業で道路規制**が発生します。
- ※ 詳細設計の後、**工程の見直しを行う可能性**があります。
- ※ 当工事は**トンネル本体の設計・施工**です。**道路舗装や照明、交差点等の工事は別途**となります。



4 トンネル施工方法

① 掘削

機械を使用し、トンネルを所定の形状に掘ります。



4 トンネル施工方法

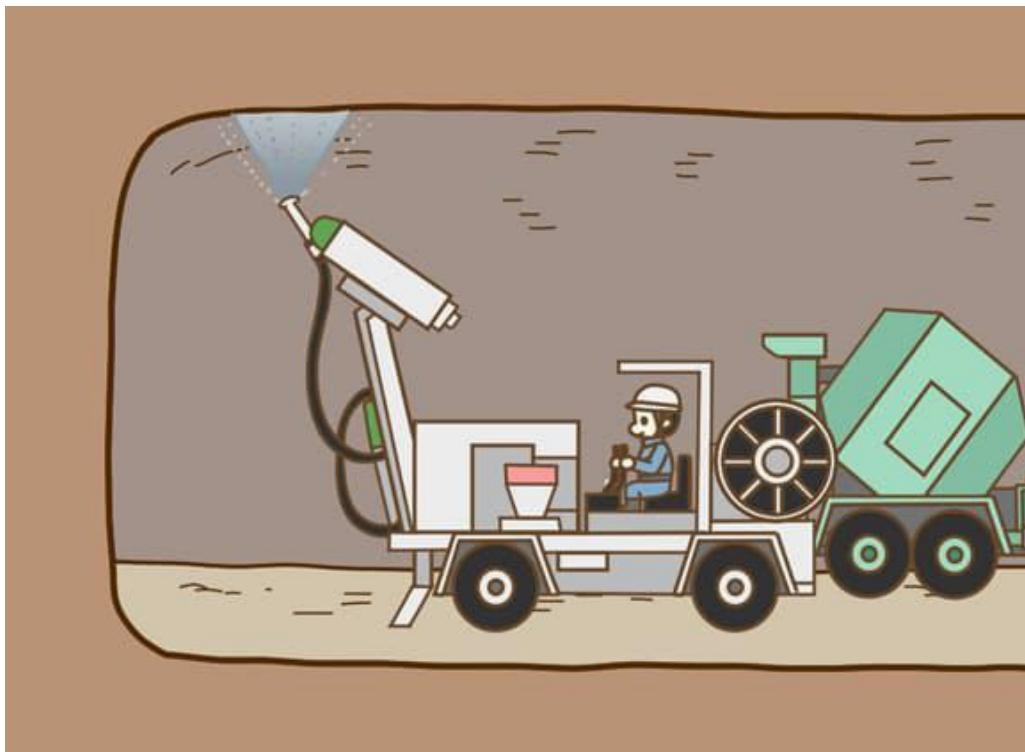
② ずり出し

掘削した土（ずり）をダンプトラックに積み込み、トンネルの外の仮置き場に運び出します。



4 トンネル施工方法

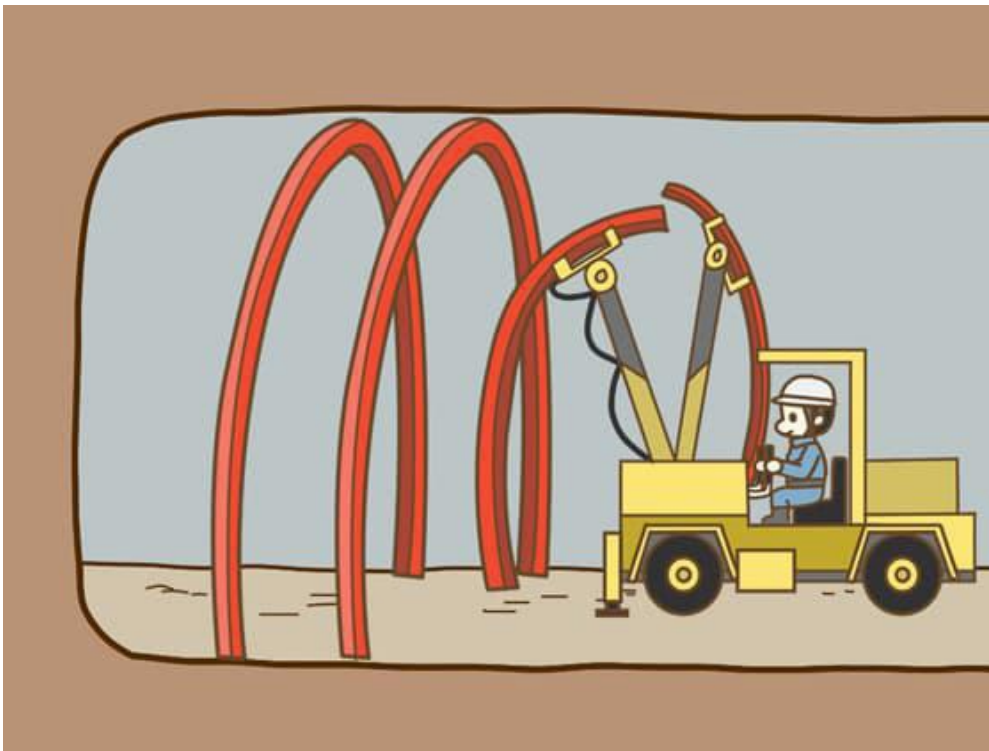
- ③ 鏡吹付けコンクリート + 1次吹付コンクリート
掘削した面が崩れないようにコンクリートを吹付けます



4 トンネル施工方法

④ 鋼製支保工建込み

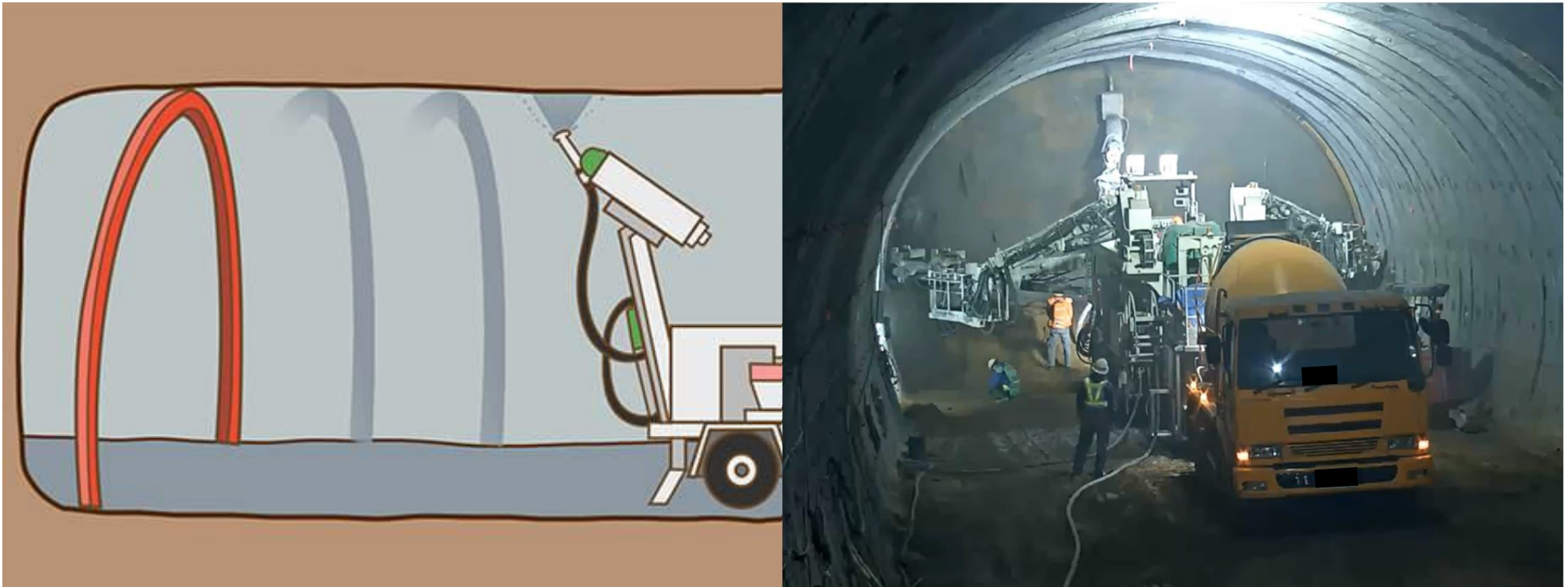
トンネルの形状に加工したH鋼を設置します



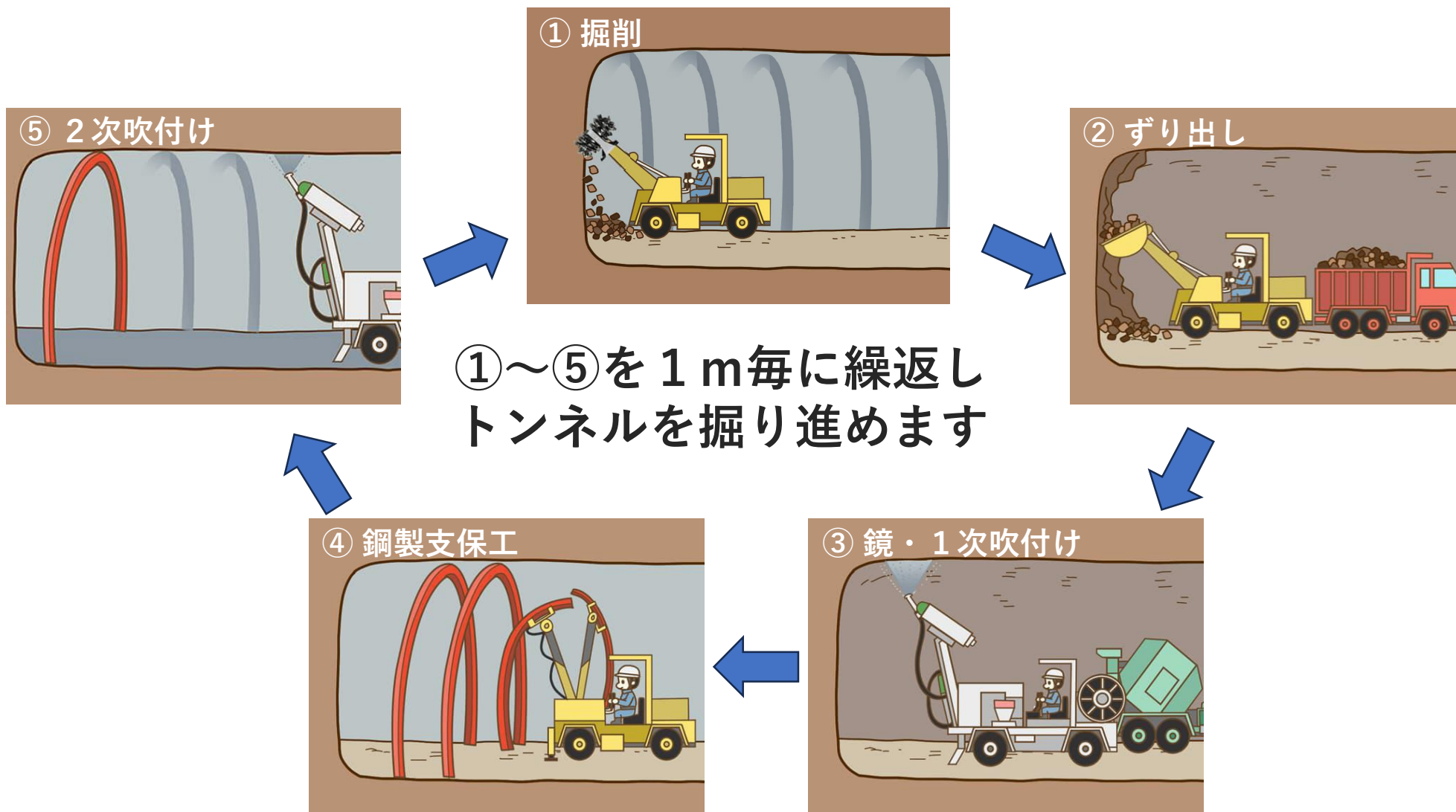
4 トンネル施工方法

⑤ 2次吹付コンクリート

所定の厚さまでコンクリートを吹付けます



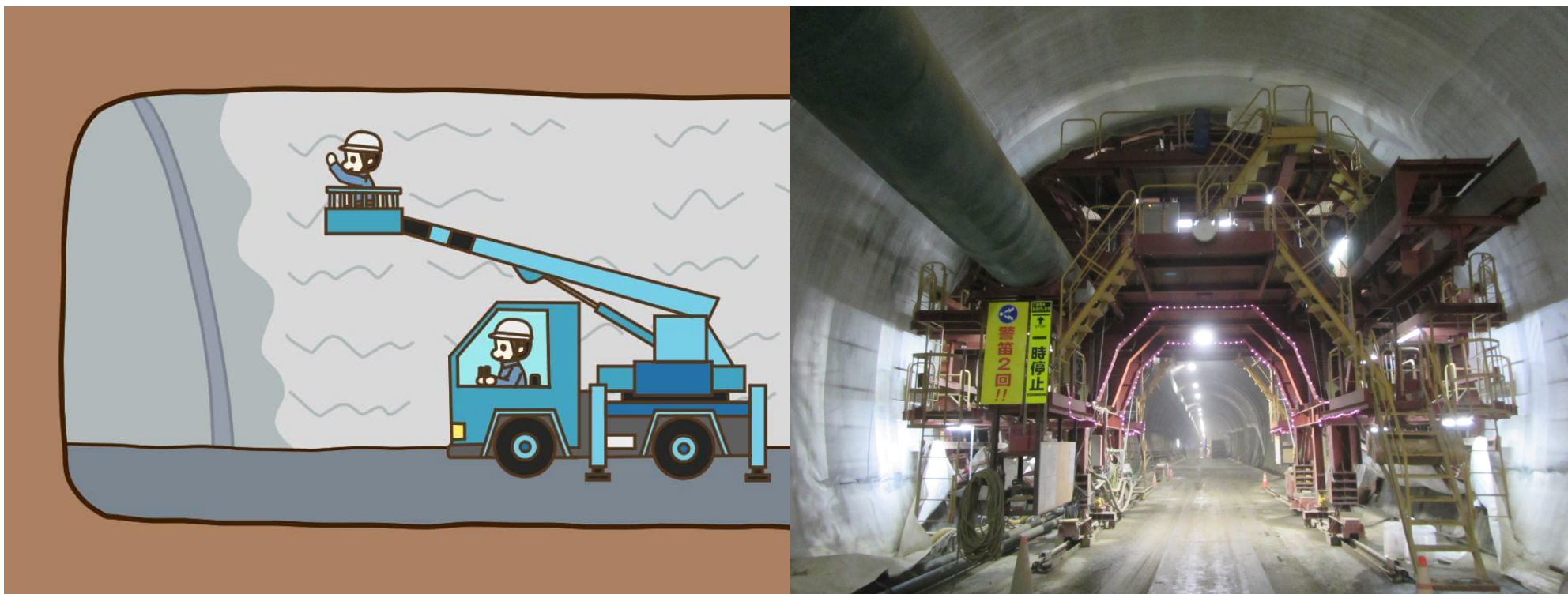
4 トンネル施工方法



4 トンネル施工方法

⑥ 防水工

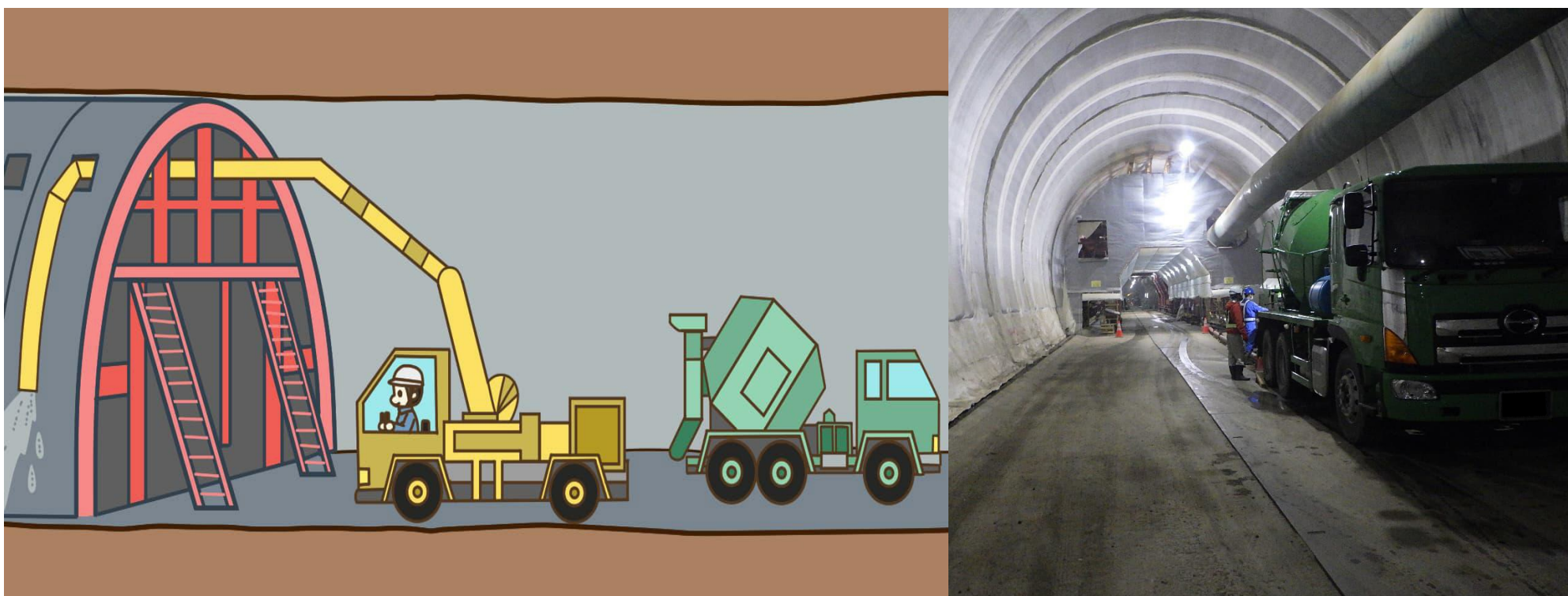
防水シートを張り、トンネル内への水漏れを防ぎます。



4 トンネル施工方法

⑦ コンクリート覆工

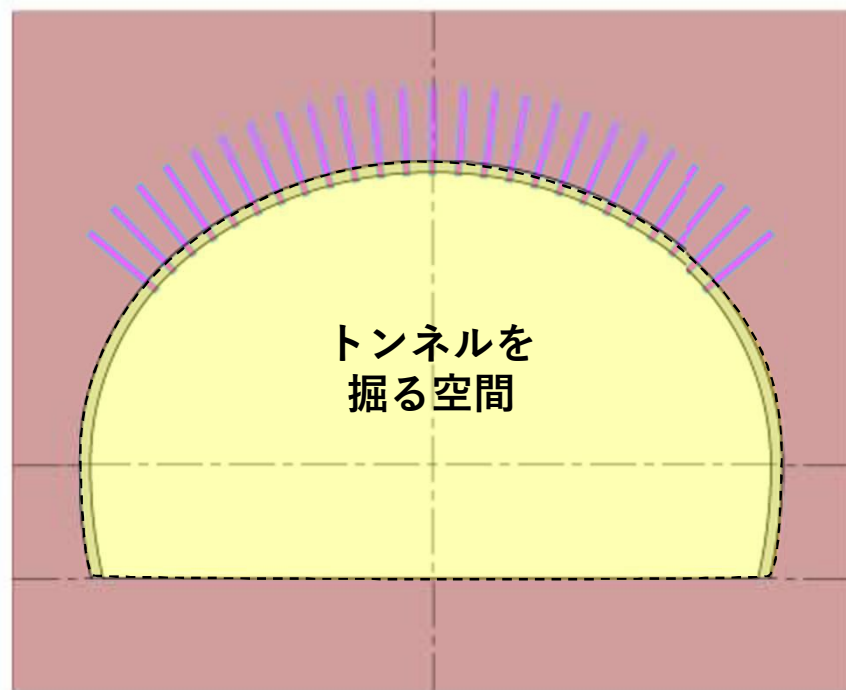
内側にセントル（トンネル型の型枠）を設置し、すき間をコンクリートで埋めます。コンクリートが固まったら完成です。



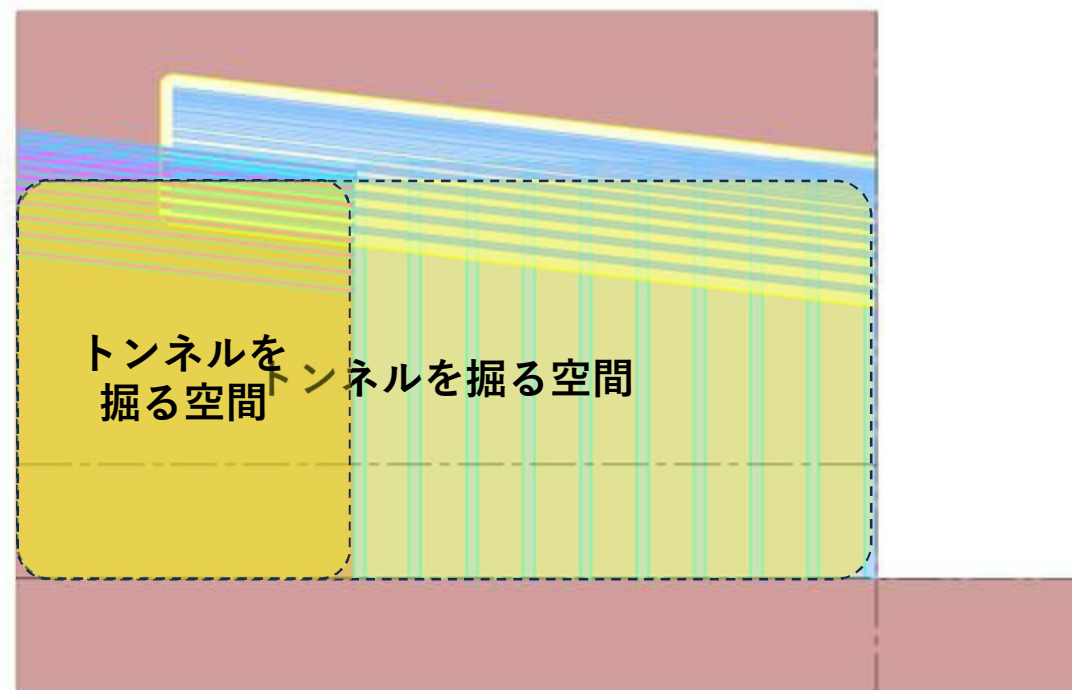
4 トンネル施工方法

トンネルを安全に掘削するための補助工法について（第1トンネル）

第1トンネルでは、長尺鋼管フォアパイリング（通称、AGF）という工法を採用します。



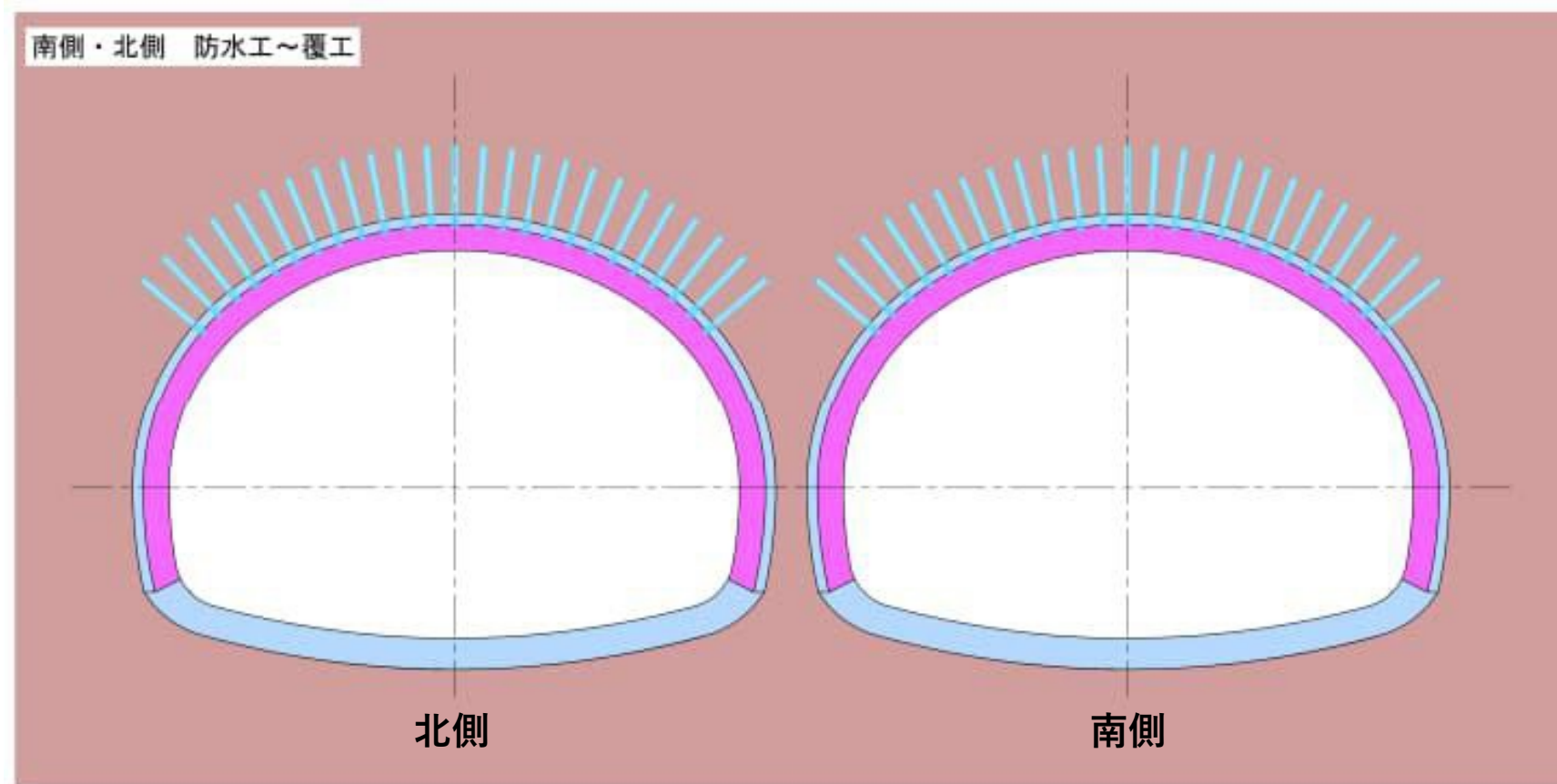
横断面図（トンネルを正面から見た図）



縦断面図（トンネルを真横から見た図）

4 トンネル施工方法

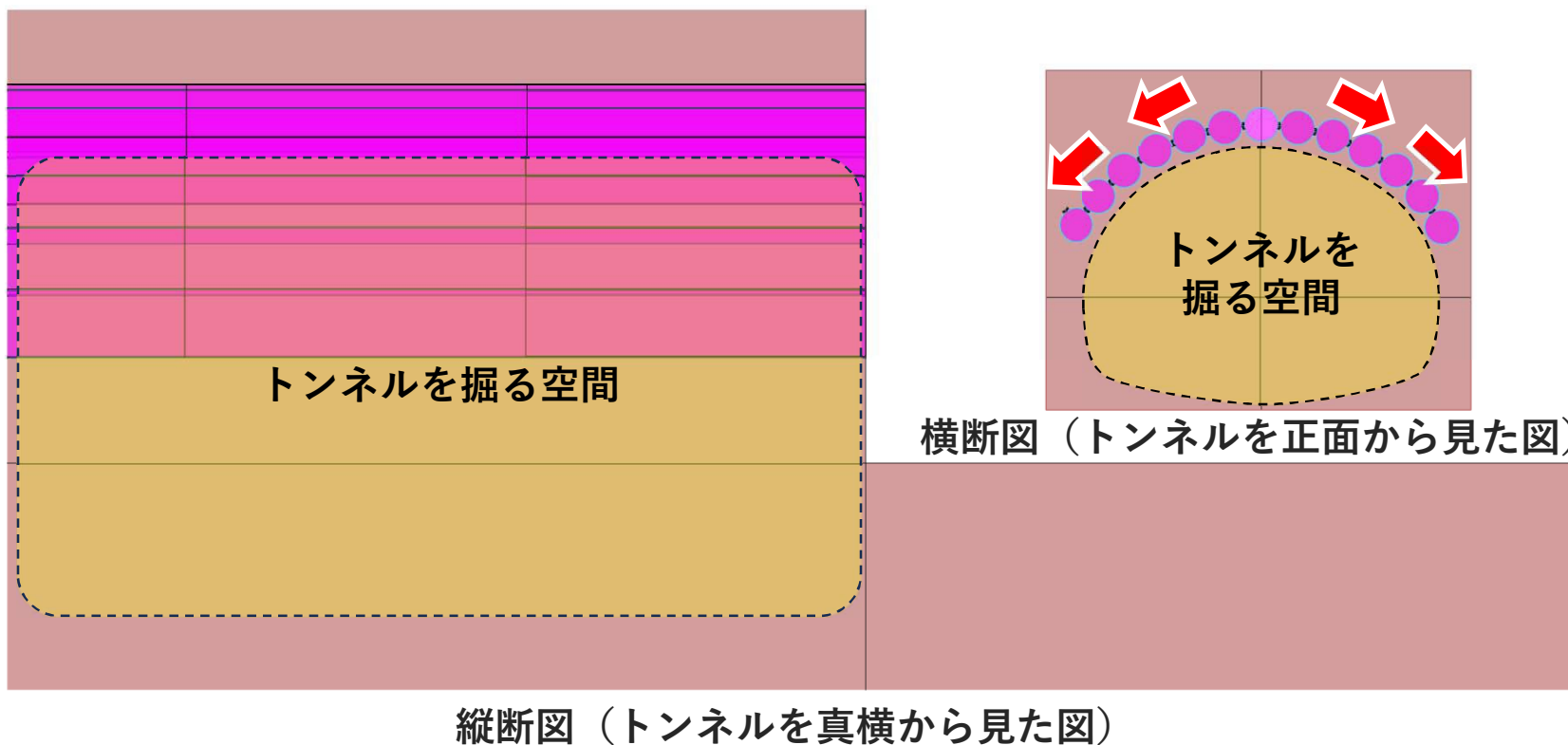
トンネルを安全に掘削するための施工方法について（第1トンネル）



4 トンネル施工方法

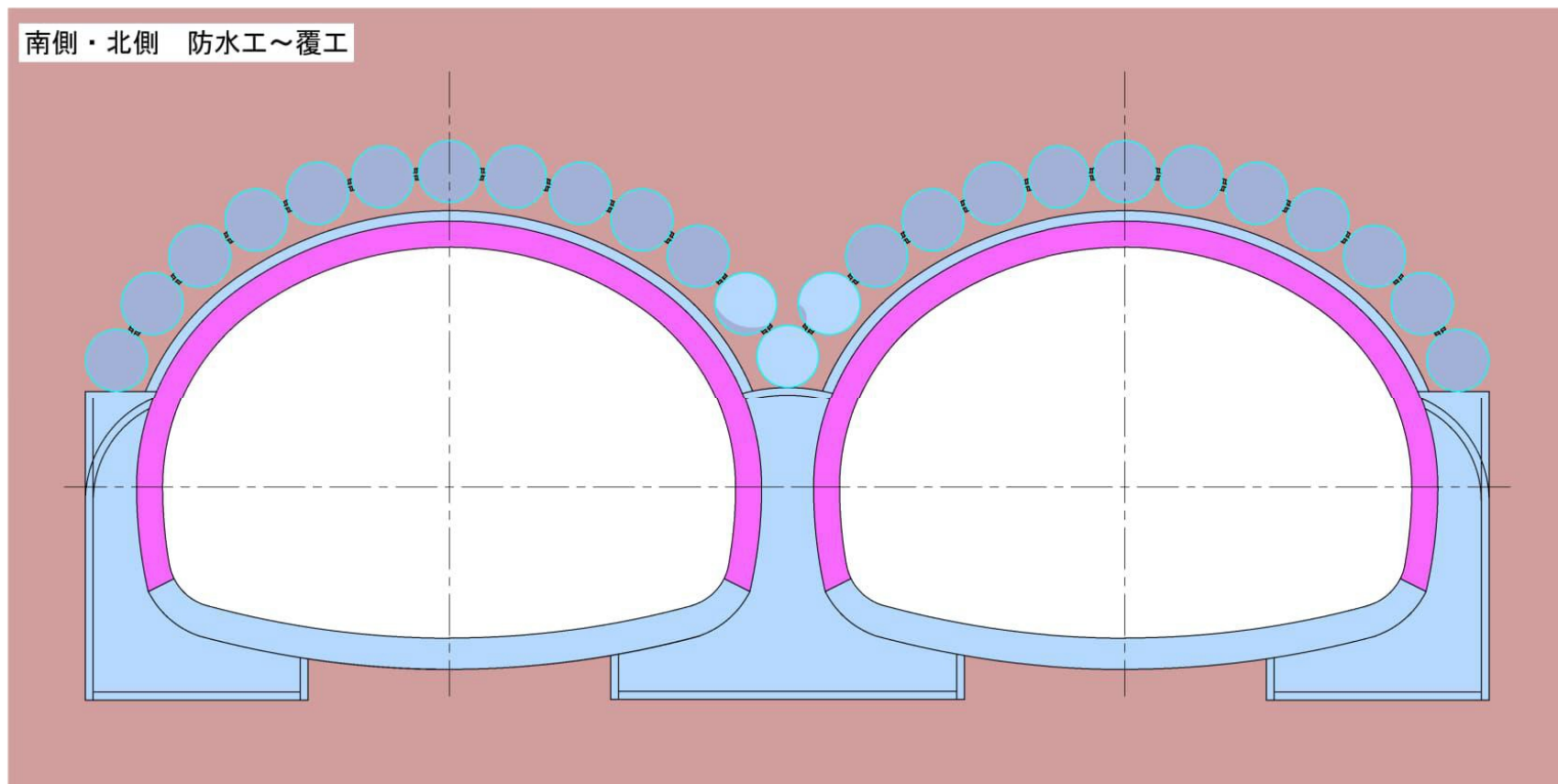
トンネルを安全に掘削するための補助工法について（第2トンネル）

第2トンネルでは、パイプルーフという工法を採用します。



4 トンネル施工方法

トンネルを安全に掘削するための施工方法について（第2トンネル）



5 環境対策

騒音対策

工事起点および終点のトンネル仮設備ヤードにおいて、

- 防音ハウス
- 吸音パネル
- 低騒音型舗装

を施工し、発生騒音を低減します。
また、トンネル施工機械や設備は、

- 低騒音タイプ

を採用します。



防音ハウス設置例



吸音パネル設置例

振動対策

- 低振動工法の採用

(トンネル掘削、杭打ち作業など)

- 敷鉄板への振動低減材設置

などにより、振動低減に努めます。



敷鉄板用



重機用

振動低減材

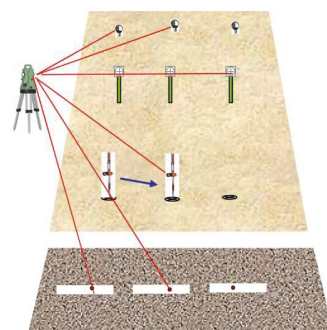
5 環境対策

周辺環境への対策

トンネルの施工に伴う影響を抑制するため、トンネル掘削補助工法など様々な工夫をしますが、その効果を確認するため、対象範囲に対して、

- 地表面・基礎等の変位計測
- 建物等の事前調査
- 地下水観測

を実施し、監視してまいります。



変位計測（イメージ）



計測データ管理

交通安全対策

交通安全対策として、

- 7:00～8:30の工所用大型車両の入退場を禁止
 - 交通誘導員を2名配置（歩道を横断して入退場するトンネルヤード出入口）
- します。

5 環境対策

その他

工事区間の中間部（市道平戸512号線沿い）に、

■ インフォメーションセンター

を設置し、進捗状況や今後の予定など、工事の情報を随時提示させていただきます。

また、飲料水・防災備品といった緊急資機材を300名分備蓄する計画です。万が一の災害発生時、住民の皆さまの安全確保の一助となればと思います。

また、

■ 工事見学会（年1回程度）

の開催を計画します。

■ 地域の清掃活動やお祭りなどの行事

にも積極的に参加いたしますので、是非よろしく願いたします。



インフォメーションセンター
(イメージ)

6 連絡先

○ 発注者



横浜市

【設計担当】横浜市道路局建設課

横浜市中区本町6丁目50番地の10

【工事担当】横浜市戸塚土木事務所

横浜市戸塚区戸塚町2974-1

担当：藤嶋（ふじしま）

TEL：045-671-3539

担当：久我（くが）

TEL：045-881-1621

○ 施工者 大林・アイサワ・京急建設共同企業体



大林組



アイサワ工業株式会社



京急建設株式会社

担当：遠藤（えんどう）、神谷（こうや）

[事務所]

横浜市戸塚区川上町87-4 N&Fビル1 3F

TEL：045-438-8350